

小学校算数A (主として「知識」に関する問題)

平成26年度
全国学力・学習状況調査

問題の趣旨

算数に関する学習内容のうち、これからの学習や生活をする上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力について調べる問題です。四則計算、面積・体積、図形の性質、2つの数量の関係などの問題の他、身近な場面の中で簡単な式をつくる力を調べる問題が出題されています。

全体の正答率

* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して
1.7%下回っています

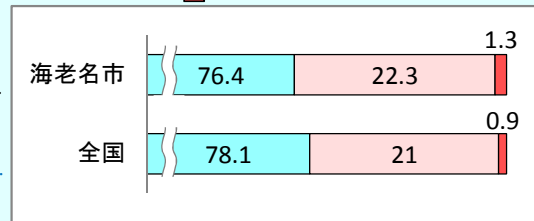
《平均正答率(%)》

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
算数A	76.4	76.9	78.1	-1.7

誤答の様子は…

《誤答の内訳(%)》

■ 正答 ■ 誤答(書いたが誤答だった)
■ 無解答(何も書かなかった)

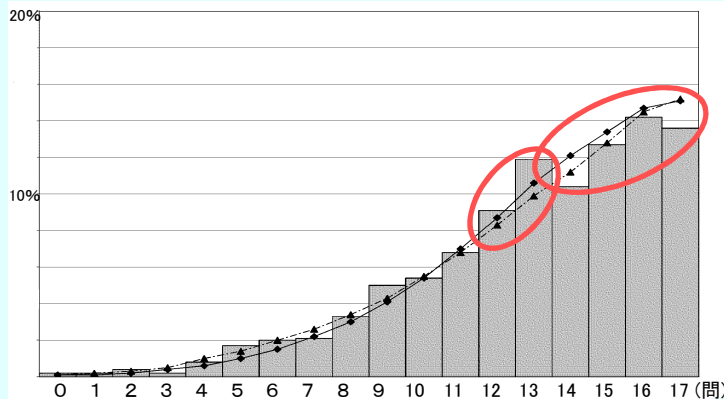


無解答率(何も書かなかった)は1.3%でした。

分布の様子は…

《正答数による分布》

■ 海老名市 -▲- 神奈川県 ◆ 全国



全国と比較すると
正答数が12~13問の児童が多く
14問以上の児童が少ない
ことがわかります

* 正答率50%以下(0~8問)の児童の割合は
11.0%でした。(全国は9.0%)

* 正答率80%以上(14~17問)の児童の割合は
50.9%でした。(全国は55.6%)

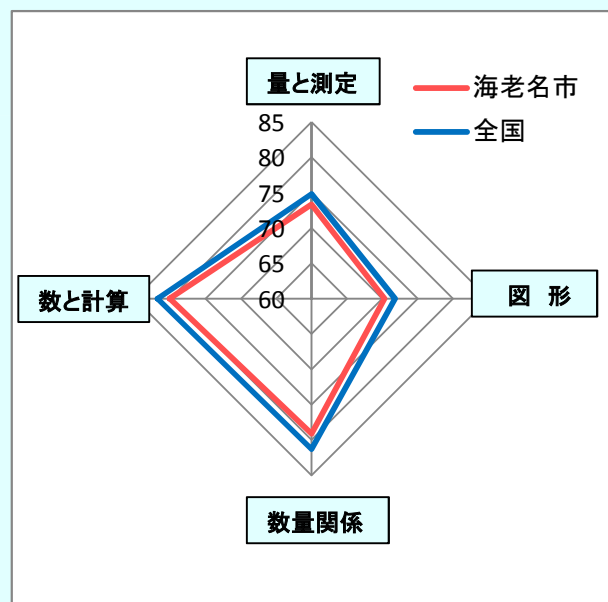
領域別の正答率

全領域において全国と比較して
やや下回っています

	海老名市	全国	全国との比較
数と計算	80.1	81.8	-1.7
量と測定	73.3	74.8	-1.5
図形	70.3	71.8	-1.5
数量関係	79.1	81.3	-2.2

* 全領域において、1.5%以上下回っていました。

* 「数量関係」については、2.2%下回っていました。



内容について

* ()内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った項目

- 直方体の見取図から、上部の面の実際の形を読み取る。(+2.9)
- 小数のひき算をする。($9 - 0.8$) (+0.6)
- 直方体の体積を求める。(+0.5)

全国を下回った項目

- ひき算・かけ算の混合計算をする。($100 - 20 \times 4$) (-5.4)
- コンパスで平行四辺形をかく手順の図を見て、使った平行四辺形の特徴を考えて選ぶ。(-5.0)
- 80cmのテープの1.2倍の長さのテープを求める式を選ぶ。(-4.8)

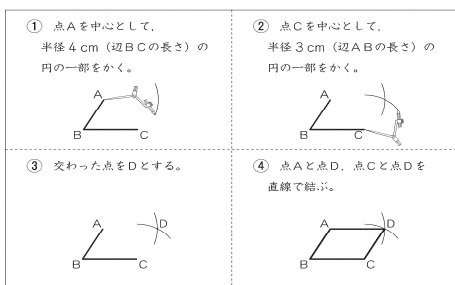
算数Aで平均正答率が全国を下回った設問の例

下のような手順でコンパスで平行四辺形をかいたときに、使った特徴を選ぶ設問

(全国との比較-5.0%)

※設問の最初の部分を省略しています

コンパスを使ったかき方



左のコンパスを使ったかき方は、平行四辺形のどの特ちょうを使っていますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

平行四辺形は

- 1 向かい合っている辺が平行である。
- 2 向かい合っている辺の長さが等しい。
- 3 向かい合っている角の大きさが等しい。
- 4 2本の対角線がそれぞれの真ん中の点で交わる。

正答 2

☆算数Aのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

考 察

- ◆ 全国と比べて、正答数が14問以上の児童が少なく、正答数が12～13問の児童が多いことから、基礎的な力を確実に身につけさせる必要がある。
- ◆ 計算のきまりを理解して計算することや図形の約束や性質を判断することに課題が見られ、計算のきまりや図形の性質の意味を十分に理解することが大切である。
- ◆ 比較量を求める問題などにおいて正しく解答することができない児童が多く、立式の意味を十分に理解させる必要がある。

指導の改善にむけて

◆ 「基礎基本となる学力を定着させる」ために

- これまでに学習した内容を定期的に復習しながら指導する。
- 授業の中で、学習内容に即した練習問題に取り組み、指導する。

◆ 「知識・理解を確実に定着させる」ために

- 計算のきまりや図形の性質の意味を理解し、活用できるように指導する。
- 数量関係を図に表したり、読み取ったりすることができるように指導する。